

## No.津-1 多目的活動センター「さんさん館」

### [建物概要]

- 所在地 津別町
- 完成年度 H22
- 用途種類 地域活動関連施設
- 構造 木造平屋建
- 延床面積 389.79m<sup>2</sup>

### [木材使用の内容]

- 木材使用量 188m<sup>3</sup>  
うち地域材使用量 141m<sup>3</sup>
- 使用樹種 カラマツほか

### [施設概要・PR]

本施設は、観光やグリーンツーリズムの案内、特産品の展示・販売等の機能を持たせ、国道 240 号線を通行する町外者が利用された際に、道内産の木材によって建築された温もりのある本施設を PR することによって、道内産木材利用の普及促進を図る上で機運向上が期待されます。

また、町民が自主的に取り組む様々な活動の交流拠点としての機能も兼ね備えていることから、町内向けにも同様の普及促進効果が期待できる施設となっています。

### [工法等の特徴]

本施設は、外壁に一部ガルバリウム鋼板を使用している以外はカラマツ角材突付貼にて仕上げ、集成材の梁にもカラマツを使用し、外部へ張出したことで展示効果を高めました。コの字型の施設内側にある多目的広場にも、カラマツのウッドデッキを使用しています。内装の壁用構造材・フローリングにもカラマツ使用の他に、カウンターや棚等に LVL 材（単板積層材）を天板として使用し見応えのある内装となっています。以上、地元産を含めた地域材のカラマツを十分に利用した施設となっています。

### [整備にあたり苦労したところ]

町産の木材を利用した施設としたかったが、調達が困難であったため、多くの資材を産地証明制度による管内産の木材で賄う結果となりました。

■設 計 者■ 株式会社アトリエアク

◆施設所有者◆ 津別町



## No.津-2 みいと in つべつ

### [建物概要]

- 所在地 津別町
- 完成年度 H26
- 用途種類 地域活動関連施設
- 構造 木造 2 階建
- 延床面積 492m<sup>2</sup>

### [木材使用の内容]

- 木材使用量 170m<sup>3</sup>  
うち地域材使用量 107m<sup>3</sup>
- 使用樹種 トドマツ、カラマツ

### [施設概要・PR]

本施設はグリーンツーリズムなどの体験活動や、合宿等により都市から訪れる人々と町民が交流する拠点として建設されました。「愛林のまち 津別町」をイメージした本施設は木の良さやぬくもりを感じることが出来るようデザインされています。宿泊室には簡単な調理が可能なコンドミニウム設備を設け長期滞在にも対応しています。またミーティングや様々な体験交流活動が行えるよう研修室を設けています。

### [工法等の特徴]

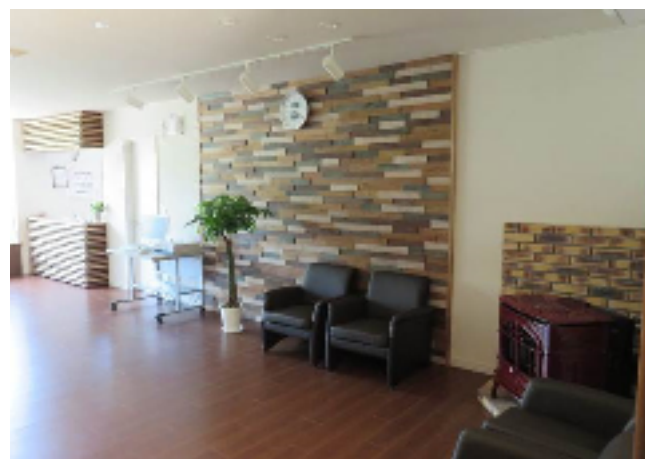
諸事情により市街地の宿泊施設が相次いで経営を断念することになり、早急な宿泊施設の建設が利用者等から望まれたため、工期短縮を図り道産トドマツを使用したプレカット工法（木造軸組工法）を採用しました。

### [整備にあたり苦労したところ]

短い工期のため限られた時間で厳選した木製建具（特に地域材産）をそろえるのに大変苦労しました。

■設 計 者■ 株式会社コンフィ

◆施設所有者◆ 津別町



## No.津-3 認定こども園「こどもの杜」

### [建物概要]

- 所在地 津別町
- 完成年度 H26
- 用途種類 医療・福祉関連施設
- 構造 木造平屋建
- 延床面積 1,676m<sup>2</sup>

### [木材使用の内容]

- 木材使用量 624m<sup>3</sup>  
うち地域材使用量 578m<sup>3</sup>
- 使用樹種 カラマツ、トドマツ、シナほか

### [施設概要・PR]

『山並みと煙突のある風景、そして、親しみの持てる外観』

遠く山並みが見える風景は自然豊かな津別町のイメージとなっています。その山並みにあわせ、緩やかな曲線を描いた外観デザインとすることで、山並みと呼応し自然と調和した景観となります。

また敷地の向こうには、遠くの山並みを背景に工場創業のシンボルであるレンガづくりの煙突があり、その景観を阻害しないデザインとし「つべつ」の顔となる風景づくりとしました。流線型のフォルムは豊かな自然と調和し、そしてどこか優しげに包み込むイメージはこども達に親しみの持てる外観となり、遊戯室の窓を煙突が見える方向に向けることで幼年期の風景が記憶に残る園になるようにと願うものです。

■設 計 者■ 株式会社久米設計札幌支社

◆施設所有者◆ 社会福祉法人夢つべつ

